

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県曽根丘陵公園

所管課 県土整備部 都市計画課

指定管理者 富士観光開発・富士グリーンテックグループ

構成団体 富士観光開発株式会社・株式会社富士グリーンテック

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間			委託料総額 (単位:円)	
財団法人 山梨県公園公社	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	201,027,000
富士観光開発・富士グリーンテックグループ		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	330,046,000
富士観光開発・富士グリーンテックグループ		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	325,614,000
富士観光開発・富士グリーンテックグループ		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	262,173,000

2 施設の概要

所在地	甲府市下向山町1271
設置年月日	昭和61年10月1日
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例
設置目的	都市公園としての①～④の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮していくこと ③良好な緑地景観、環境を提供すること ④歴史文化を学ぶ場を提供すること
主な業務の内容	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)県が実施するイベント等への協力 (3)施設利用の受付業務
主な施設内容 (定員等)	○管理者管理面積 32.3ha(考古博物館等は除く) ○施設の内容 ・研修センター(延床面積992㎡)・方形周溝墓広場(11,000㎡) ・芝生広場(10,000㎡)・野外ステージ(野外研修施設、748㎡) ・ハーベキュー施設(603㎡)・花の広場、歴史植物園(9,500㎡) ・日本庭園イベント広場(4,466㎡、コロシム風の芝生広場) ・その他(ふれあい広場、自然観察路、緑地、園路、駐車場)
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	65,564,507	65,588,386	65,636,354	66,123,638	66,265,278	
支出合計	65,326,120	64,817,646	65,492,337	65,979,042	66,131,842	
収支差額	238,387	770,740	144,017	144,596	133,436	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	240,929人	274,867人	243,784人	124,463人	179,215人	公園、バーベキュー利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

公園利用者数 目標値 150,000人 → 実績値 179,215人

施設管理については事業計画書に基づき、緑地の適正管理や日常点検、専門業者による各種点検を実施して施設の維持管理に努めた。またテーブルやベンチ、トイレなど施設の修繕を必要に応じて行った。アンケート調査を実施し、公園利用者の意見を参考にミストの新規設置や簡易テントの期間設置を行った。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、バーベキュー場、野外ステージにて演奏会等の利用を再開した。今年度も新型コロナウイルスの影響で、山梨県臨時特別協力要請やまん延防止重点措置が発令され施設の一時利用禁止があったが、団体利用増加やバーベキュー場の利用再開、自粛していたイベントの開催などにより利用者数が目標人数に達した。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となった為、利用者数は前々年度を下回ったが、コロナ対策を踏まえたイベントを開催することで利用者が増加し、前年を上回り、目標値に達することができた。

都市公園における市民の憩いの場の提供のための事業について、目標値を上回る実績となり評価できる。

また、適切な管理運営を実施したことで、利用者からは高い満足度を得られている。

コロナ禍でも安心・安全に利用できる取り組みと情報発信を行い、利用者の満足度を高めるよう努めること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

園内や各施設で感染拡大防止対策を実施し、ホームページやSNSにより情報発信を行ったことで、利用者が安心して来園ができ、安全に利用できる環境づくりに努めた。

また、本年度も屋外ステージを利用する場合は、利用者から感染防止対策について書面で提出を求め、安全対策の徹底を行った。

また、昨年度、利用禁止としていたBBQ施設の利用については、体調チェックシートの記入をはじめ、酒類の飲用禁止、1テーブル6名までの人数制限等を実施した上で本年度より再開した。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県曽根丘陵公園
 所管課 県土整備部 都市計画課
 指定管理者 富士観光開発・富士グリーンテックグループ
 構成団体 富士観光開発株式会社・株式会社富士グリーンテック

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	公園利用者数	240,929	274,867	243,784	124,463	179,215
	(うちバーベキュー場利用者数)	(7,023)	(7,911)	(7,134)	(0)	(541)
	利用者数合計	240,929	274,867	243,784	124,463	179,215
	目標値	231,000	237,000	240,000	100,000	150,000
	実績/目標割合	104.3%	116.0%	101.6%	124.5%	119.5%
	目標値の設定方法	令和2年度の年間公園推定利用者数(122,000人・令和3年2月時点目標設定時推定値)が当該年度目標値(100,000人)の約22%超過と予測された。ここから、令和3年度の利用者数の伸び率目標を当該超過比率と同等程度以上として設定し、23%超過で算出した目標値として150,000人を採用する。				
利用率	稼働率等(利用率)	660人/日	753人/日	668人/日	341人/日	491人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)山梨県富士川クラフトパーク (2)山梨県桂川ウェルネスパーク (3)愛宕山広域公園
----------	--

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

県 照明設備改修工事	62,144,500
管 ステージ階段、標識補修、グレーチング交換	295,000
管 インターロッキング歩道補修、舗装工	242,000
管 ローラー滑り台、マット補修 外13件	588,102

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
2	随意契約	売上額の23%	179,232	
5	随意契約	売上額の18%	372,090	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和3年4月～令和4年3月 実施方法: 公園利用者へのアンケート 回答数: 421人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	74.2%	25.1%	0.7%	
トイレや休憩所について	56.3%	36.5%	6.0%	1.2%
園路や広場について	78.4%	21.4%	0.2%	
園内情報・案内板について	63.7%	33.9%	2.4%	
園内の安全・防犯について	63.6%	35.0%	1.4%	
公園スタッフの対応について	72.5%	26.8%	0.7%	
施設全般の満足度	81.2%	18.8%		
利用者の主な意見	【施設・設備】 ・夏でも涼める様に噴水などがあつたら良い。 ・手洗い場を増やして欲しい。 ・日陰を増やして欲しい。 ・売店があつた方が良い。 ・ベンチが新しくなつていて良かった。			
利用者の意見への対応	【施設・設備】 ・夏の期間、涼める様にミストの新規設置、稼働をした。 ・手洗い場に関しては県に要望を行つており増設を検討中。 ・夏の期間、遊具広場のベンチ付近に簡易テントを設置して日陰を増やした。 ・祭日にキッチンカーを出店した。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>園内の芝生や低木の管理を行い利用しやすい環境を整えた他、今年も樹木の維持管理で隣接する田畑の持主より日照問題等の要望を受け、要望を優先しながら園内の環境を整えました。園内各所で樹木剪定や林帯整備を実施し、毎年見通し箇所を広げることで来園者の安心、安全や景観向上に努めた。</p> <p>木製ベンチ、テーブルで傷や汚れが目立つため、塗料塗布や部材交換の整備をしたことで、来園者からベンチについて好評の意見を頂いた。</p>	<p>植栽の維持管理により適切な維持管理業務を遂行している。</p> <p>要望に対し、適切及び自発的に対応することで利用者にも喜ばれており、評価できる。</p> <p>今後も適切な維持管理を行い、利用者が安全で快適に利用できる環境整備に努めること。</p>
運営業務	<p>新型コロナウイルス感染症対策を実施し運営業務を行いました。また、BBQ場も施設及び人数などの制限を行い貸出しを再開することで、来園者からのBBQ場利用要望に応えた。</p> <p>8月上旬から9月中旬まで山梨県臨時特別協力要請がまん延防止等重点措置が発令され期間中はBBQ場、野外ステージなど施設利用を禁止しました。発令前に受付した予約については、予約者に誠心誠意説明を行いご迷惑が掛からない様に対応することで、揉め事を起こすことなく、期間中の予約を中止・延期することができた。</p> <p>観光施設等に公園パンフレットを配布し幅広く公園情報発信したり、考古博物館と相互協力し、公園の特色を生かしたイベントを開催し利用者に興味を持ってもらうことで公園の周知に努め、公園や博物館の利用促進につながった。</p> <p>また、団体利用についても新型コロナ感染予防の周知や対策を行うと共に事前の連絡で利用日を調整し、安心して利用できる様、環境を整えることで利用促進につながった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、イベントを実施し公園利用の促進に努めた。</p> <p>山梨県臨時特別協力要請に伴う利用者への丁寧な説明により、問題なく中止や延期ができたことは今後の利用者確保にも繋がる。</p> <p>今後も適切な運営業務を行い、利用者の満足度向上に向けた環境づくりや地元自治体と協働した公園づくりに努めること。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で一部施設の閉鎖もありましたが、利用団体や野外ステージ利用の増加、BBQ場の利用再開、昨年中止したイベント開催などにより来園者数を増やすことができた。</p> <p>考古博物館との共催イベントでは、積極的に公共施設や広報機関、HP等で情報発信をした事によりイベント希望参加者が定員になるなど公園利用増加に繋がった。</p>	<p>ホームページやSNSでの情報発信により、公園利用者の増加に努めた。</p> <p>また、考古博物館と連携してイベントを開催することで地域の賑わい創出に努めた。</p> <p>利用者へ感染拡大防止を呼びかけつつ、安心安全な環境の提供に努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

<p>収支状況</p>	<p>昨年度に引き続き、近隣耕作者より日照確保のための高木剪定の要望があったことから、支出予算を優先して植栽強剪定を行うことで近隣住民の要望に対処し良好な関係の構築に努めた。 自動販売機手数料が年度計画より増加したこともあり予算の範囲内の事業運営が実現した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により免れた費用を有効活用しており、今後の公園運営がスムーズに進むように工夫している。 経費の削減が可能である箇所については削減に努め、計画的な収支管理に努めること。</p>
<p>自主事業</p>	<p>昨年度中止した大規模イベントは新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し規模を縮小して開催した。小規模イベントについても感染防止対策を実施し開催した。これにより来園者数の利用増加に努めた。 一方、一部イベントはまん延防止重点措置の影響で中止となった。 人数制限で参加できない方も多数見られた為、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら参加人数を増やすように努めていく。</p>	<p>コロナ対策を行ったイベントの開催により、利応者の増加や利便性につながる自主事業を行っている。 小規模イベントであっても、工夫をすることで利用者の満足度を高めることはできると考えているため、今後も感染症拡大防止に取り組むつつコロナ禍における利用者のニーズを把握し、満足度を高めるよう努めること。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>施設満足度の内、「満足」が81%、「どちらかと言えば満足」が19%の評価を得た。ただしトイレや休憩所の項目などで不満の意見が目立つので、今後も利用者の意見を集め、必要な対応を実施することにより、満足度の向上に努めていく必要がある。</p>	<p>適切な運営管理により利用者から高い満足度を得られている。 利用者からの意見については、可能な限り対応し、さらなる利用者満足度向上に努めること。</p>

8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>都市公園における県民の憩いの場の提供</p>	<p>都市公園における県民の憩いの場の提供に関する評価のため、公園施設(野外ステージ)の年間利用者数を評価指針として設定。 年間利用者は、919人となり目標値573人を上回る結果となった。</p>	<p>更なる年間利用者数増加を図るため、コロナ禍でも安心・安全に利用できる取り組みと情報発信を行う。 また、利用者のニーズを正確に把握し、満足度を高めるよう努める。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

